

4-6 伊豆半島の地殻変動

Crustal Movements in the Izu Peninsula

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、熱海～伊東～河津間の上下変動である。1994年6月から11～12月の半年間では、伊東市の北部を境に南側がやや隆起したように見えるが、これまでの群発活動に関連したドーム状の隆起等の変動は見られない。

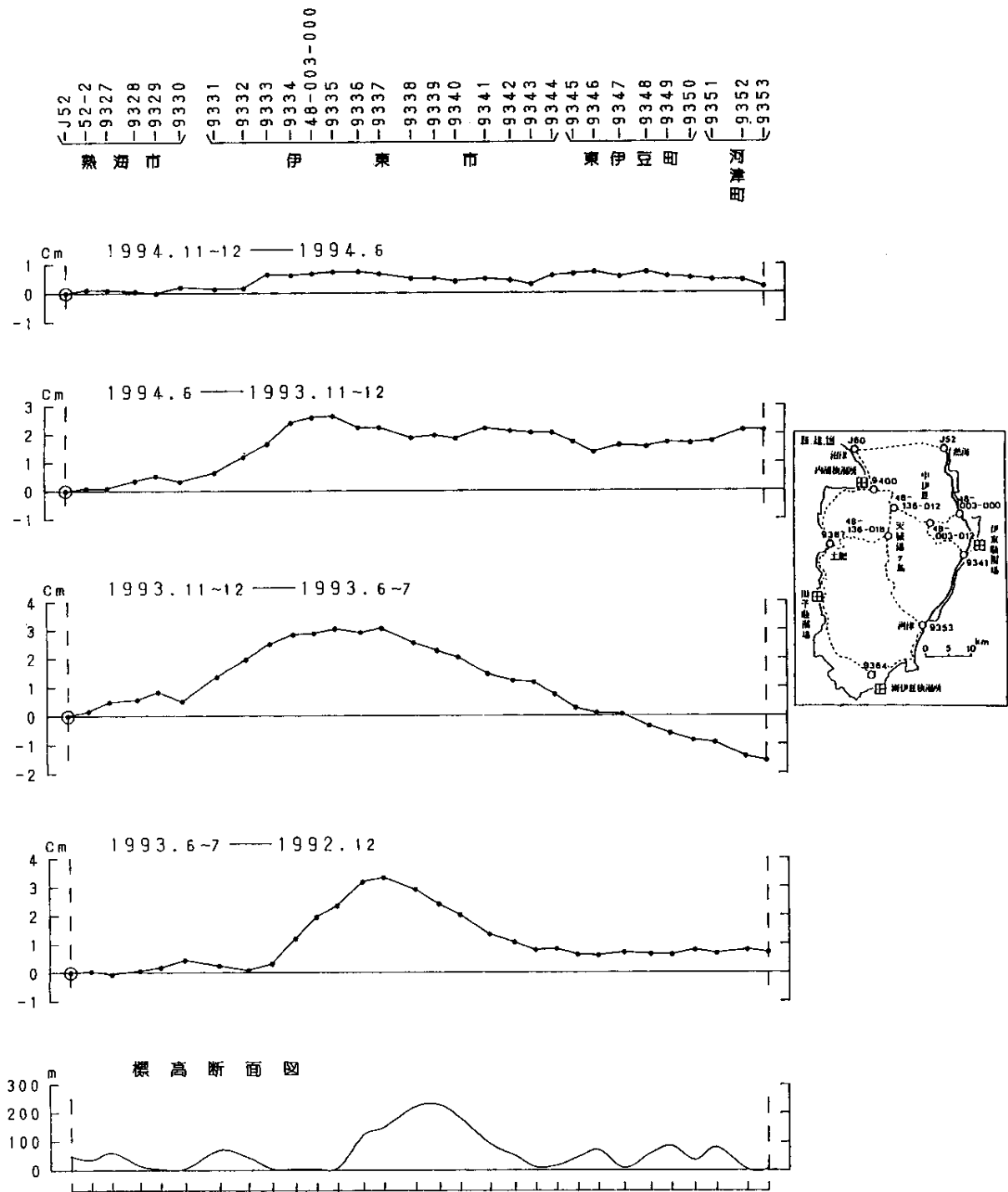
第2図は、伊東・油壺・初島・真鶴各験潮場間の月平均潮位差である。伊東は1994年から、初島は1993年から顕著な変動が見られない。

第3図は、川奈精密辺長測量の結果である。1994年11月からはほとんど変動はない。

第4図は、伊東東部の辺長の連続観測結果である。1994年以降、大きな変動は見られない。1995年春に縮んでいるのは、年周変化と考えられる。第5図は、伊東周辺のGPS連続観測結果である。11月に変化があったように見えるのは、観測条件を変更したためである。特に顕著な変動は見られない。

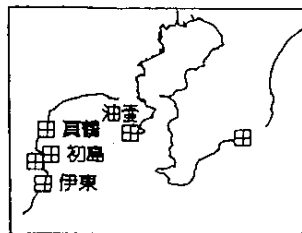
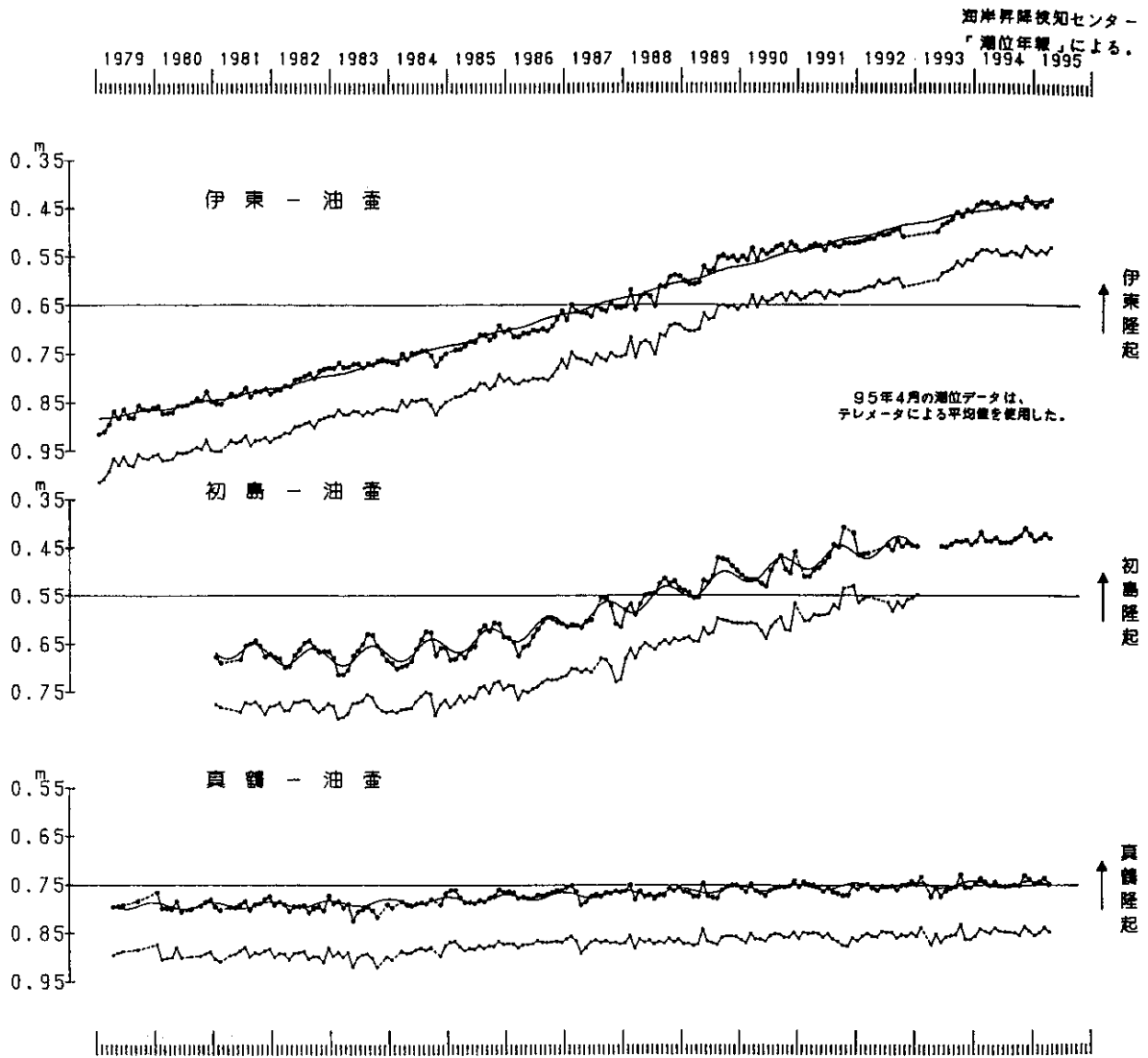
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：伊豆半島及びその周辺の地殻変動，連絡会報，**49**（1993），274-291.
- 2) 国土地理院：伊豆半島及びその周辺の地殻変動，連絡会報，**50**（1993），310-310.
- 3) 国土地理院：伊豆半島及びその周辺の地殻変動，連絡会報，**51**（1994），373-400.
- 4) 国土地理院：伊豆半島及びその周辺の地殻変動，連絡会報，**52**（1994），272-290.
- 5) 国土地理院：伊豆半島及びその周辺の地殻変動，連絡会報，**53**（1995），356-375.



第1図 熱海～伊東～河津間の上下変動

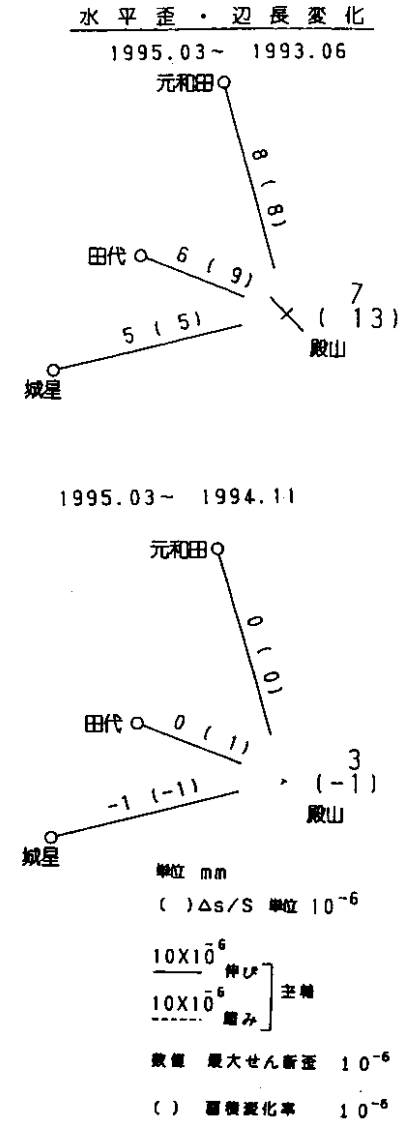
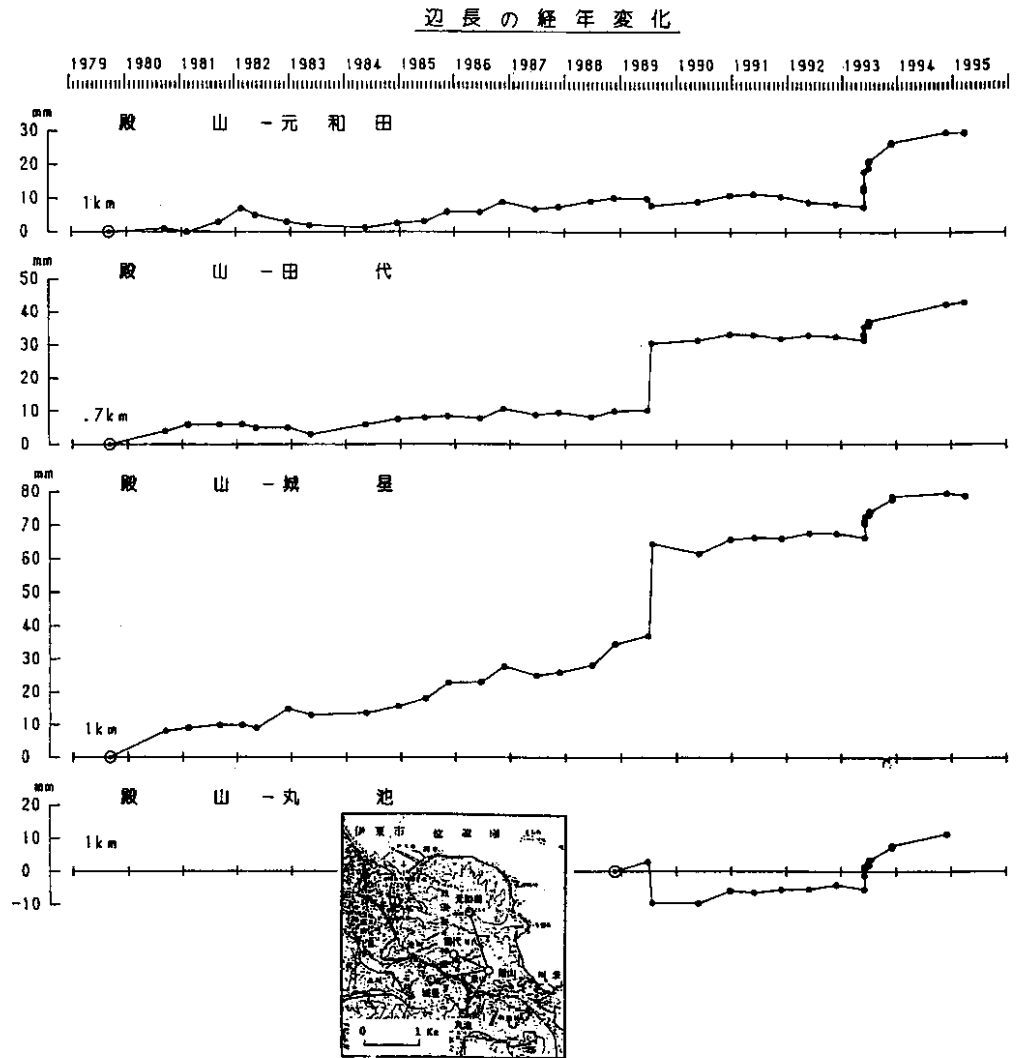
Fig.1 Height changes along the route from Atami to Kawazu via Ito.



上段：観測値および近似曲線
 下段：年周変化を補正した値
 初島 1993年5月センサー交換

第2図 伊東・油壺・初島・真鶴各験潮場間の月平均潮位差

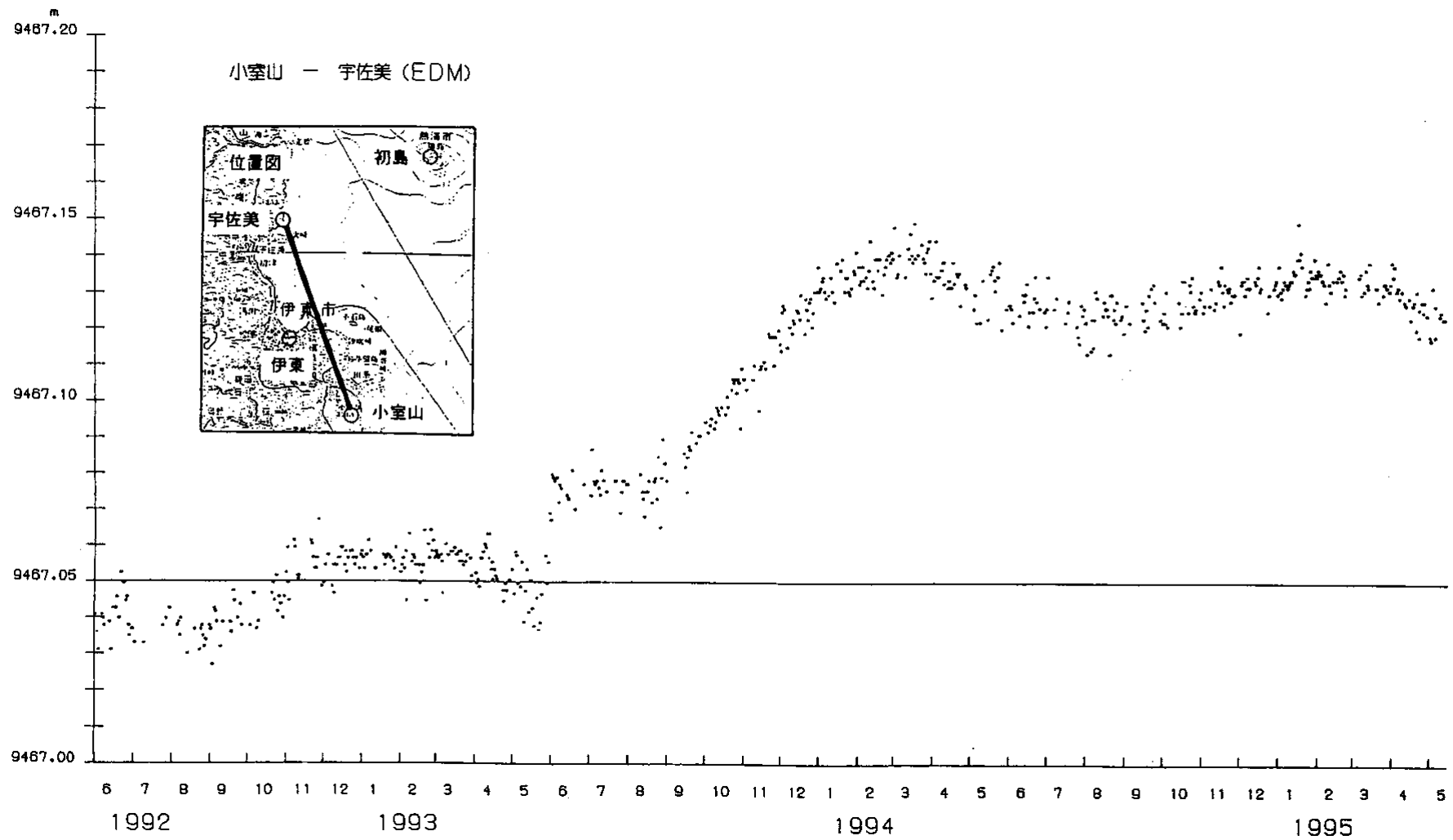
Fig.2 Differences in monthly mean sea levels between Ito, Aburatsubo, Hatsushima and Manazuru tide stations.



第3図 川奈精密辺長測量結果

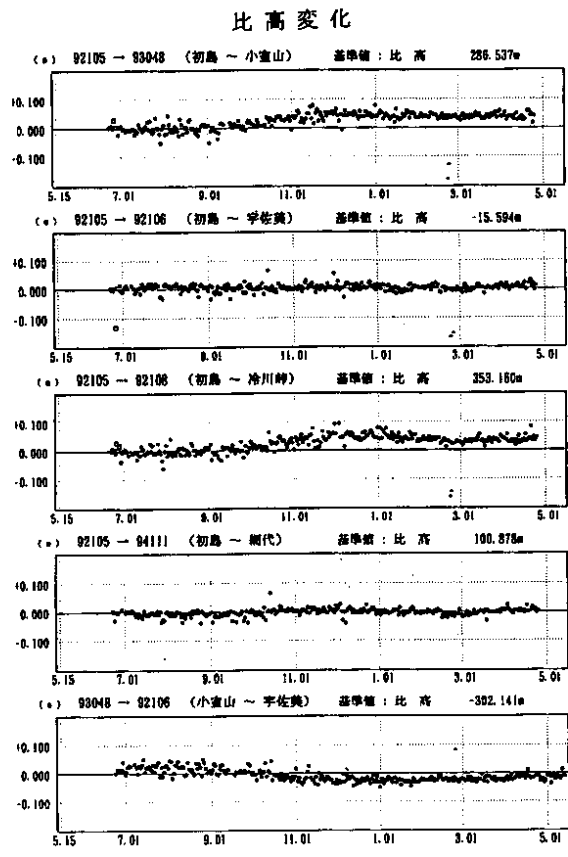
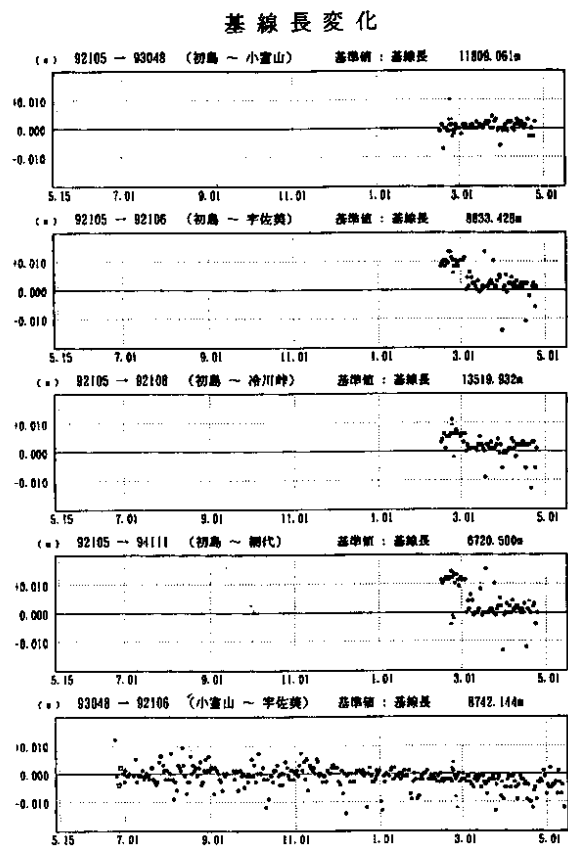
Fig.3 Results of the precise distance measurements in the Kawana baselines.

伊東東部連続観測（辺長）日平均結果

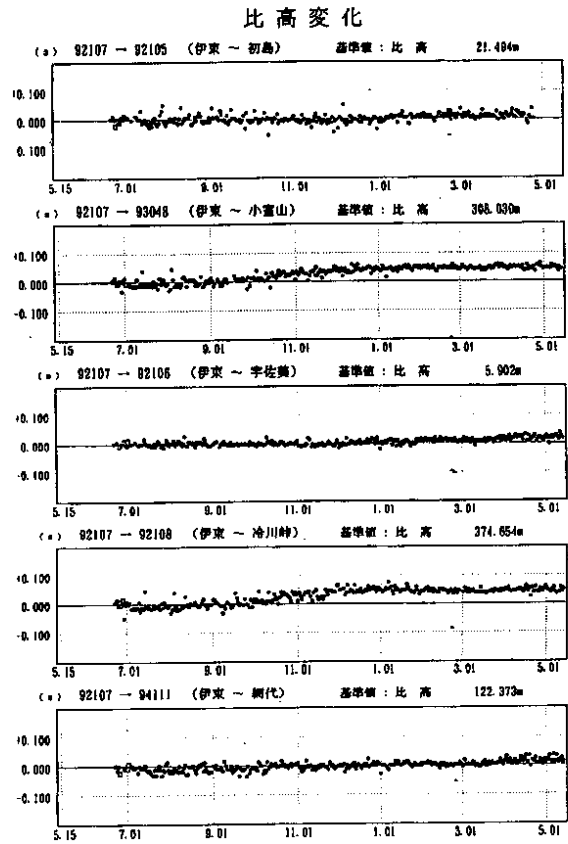
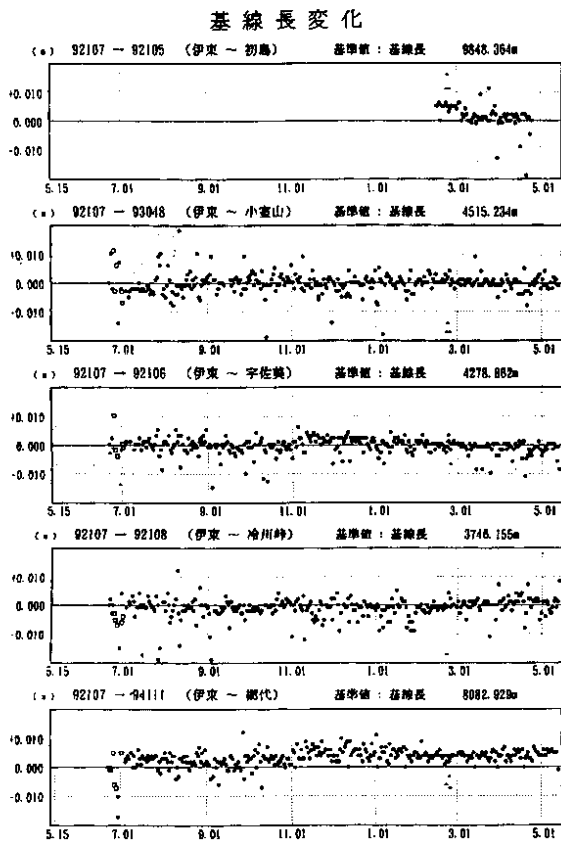


第4図 伊豆東部における距離自動観測結果

Fig.4 Results of automatic distance observations in the eastern part of the Izu Peninsula.



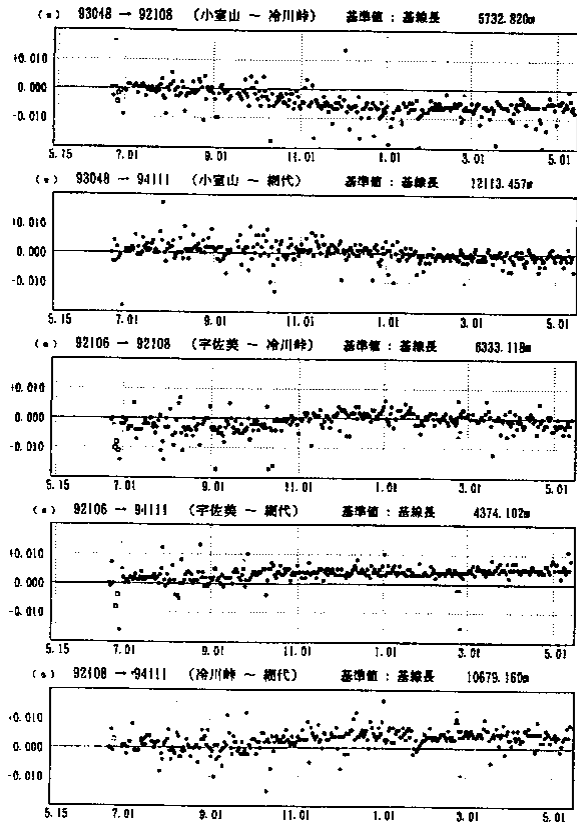
初島2/17、4/28移転



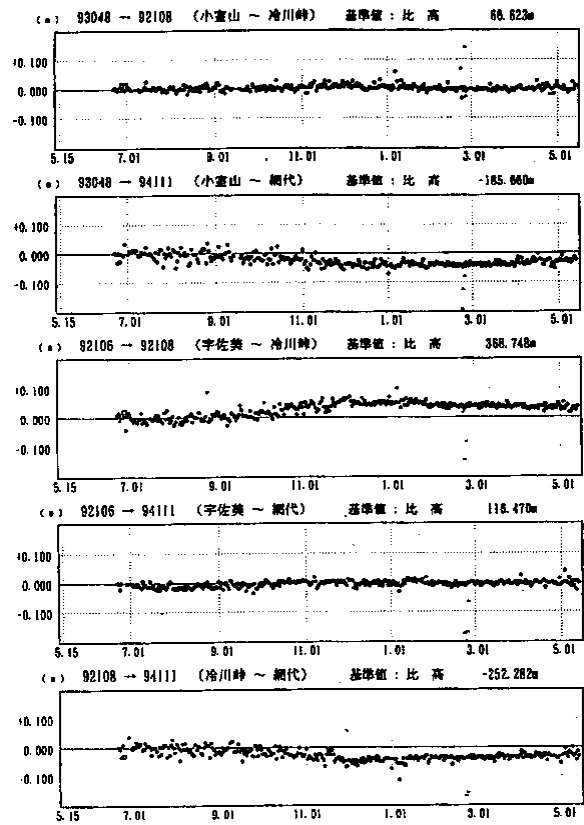
第5図 伊東地区 GPS 連続観測結果

Fig.5 Results of the continuous GPS observation in the Ito area : distance changes.

基線長変化



比高変化



第5図 つづき

Fig.5 (Continued)